

ビンラディン氏の所在確認



ウサマ・ビンラディン氏 (ロイター=共同)

拘束作戦が重大局面

特殊爆弾投下後に通信傍受

【ワシントン11日共同＝小片格也】米ABCテレビは十一日、アフガニスタンを攻撃している米軍がアフガン東部トラボラにウサマ・ビンラディン氏とテロ組織アルカイダ幹部が潜伏していることを確認したと報じた。米情報筋の話として伝えた。

反タリバン勢力と連携してビンラディン氏を追跡し

ている米軍特殊部隊は、トラボラ一帯の洞くつ内の捜

索を開始しており、十月七日の空爆開始で本格化したビンラディン氏拘束作戦は重大な局面を迎えた。

ABCテレビによると、米軍が九日にビンラディン氏が潜んでいるとみられる洞くつに特殊大型爆弾を投下した際、アルカイダ兵士らがパニックを起こし無線や衛星電話で連絡を取り合った。米軍はこの通信を傍受、ビンラディン氏らがトラボラに潜んでいることを特定したという。投下現場の近くにいたビンラディン氏やアルカイダ幹部は逃走、一部は重傷を負っているという。